



○笠中学生徒会

「活気つく町に！」

六月二十八日（火）から四日間、昨年度に引き続き笠松中学校生徒会による「あいさつ運動」が展開された。初日は、美笠通り「どんどん庵」前交差点で、通行する人や

車の運転者にあいさつの一声。

翌日から三日間は、それぞれの小学校の児童昇降口と各小学校区通学路二ヶ所を実施。小・中学生が地域の方々と共に活気づく町をめざして取り組んだ。

○心がふれ合う あいさつ！

各小学校昇降口では、中学生が「地域あいさつ運動」のタスキをかけて立つ。小学生も手製の紙タスキをつけて声をかけ合う。あいさつ運動に参加した大人も声をかけ、あたりは活気にあふれる。

通学路では、いつも安全を見守ってい

ただく方々に、中学生も加わり声をかける。顔を合わせては「おはようございます」とあいさつを交わす。さらに、小学生は世話をしていた方や止まった車の運転者に「ありがとうございます」とおじぎし声をかける。あいさつされた大人も、「どういたしまして」、「頑張っ

ね」と笑顔と目で、気持ちを伝える。心がふれ合う一瞬である。

○あいさつに込められた心

道徳のまち笠松推進会議では、あいさつに込められている気持ちを広く皆さんに知っていただくようと、あいさつ絵本「心をつなぐあいさつ」を五〇〇部作成し、



笠中学生徒会

「あいさつで活気つく町に」

町内の小中学校や幼児教育関係施設・児童館・まちな

駅・公民館などに配布した。あいさつには、ねぎらい、感謝、いたわりの気持ちが込められている。わが町では、そんな心を大切にしたいと願うのである。

○大人もあいさつ！ つながる心

笠中学生徒会の活動に、PTA、青少年育成町民会議、子ども会、ふれあいたい、二町教育委員会、道徳のまち笠松など大人の皆さんも参加した。「おはようございます」「ありがとうございます」と声をかけ、心が響き合う朝の一時。

心のつながりを紡ぎだし、わが町の風土にしていきたい。小中学生のあいさつ運動により、世代を超えた心のつながり作りが始まっている。もっと、大きな輪になれ！

あいさつ絵本



「羽島梱包」付近の交差点で
あいさつを交わす小・中学生